

令和4年度 学校関係者評価実績報告書（まとめ用）

学校番号	24	学校名	静岡県立吉原工業高等学校	記載者	渡森 和彦
------	----	-----	--------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	自己評価	関係者評価	意見
ア	基本的生活態度の確立	毎日の登校指導の実施。 「校則や社会のルールを守っている」と答える生徒90%以上 遅刻を各学年1日あたり1人未満に抑える。	「校則や社会のルールを守っている」と答えた生徒99.6%。 1日あたりの遅刻数 1年0.52人 2年0.50人 3年0.64人 (12/27現在)	A	A	「怠惰な生活」という表現は変えた方が良い。 「今までの怠惰な生活」という表現は中学時代も含まれると受け取れる。 先輩との関わりや伝統が影響していると思う。
	読書活動を通じた知性・創造力の育成	図書館だよりの定期的な発行と貸出数の昨年度比増加を図る。 「朝読書の時間は有意義である」と答える生徒75%以上 「図書館やPTAコーナーにある本を読んだことがある」と答える生徒70%以上 読書感想文に替わる課題を試行する。	図書だよりは月1回以上発行し、貸し出し数は横ばいだった。「朝読書は有意義である」と答えた生徒74% 「図書館等の本を読んだことがある」と答えた生徒66%	B	B	高校生になったら「自分育て」。 本は、自分育てのエネルギーだ。 力を入れてほしい。 本校の図書館は素晴らしい。
イ	学習指導の充実	校内公開授業週間における教員相互の授業参観率95%以上と、自主的な研究授業実施者15人以上	教員の授業参観率94% 自主的な研究授業実施11人	B	A	Aでも良いのではと思う。 時間が無いのではないか。
		「興味を持って主体的に取り組める授業がある」と答える生徒90%以上	「あてはまる」と答えた生徒98%	A	A	特になし。

ウ	能力・適性・希望に応じたきめ細やかな進路指導とキャリア教育の推進	「進路について親と話をすると答える生徒75%以上 「生徒手帳（進路の手引）を活用している」と答える生徒85%以上 大学進学者数が進学希望者数の半数	「あてはまる」と答えた生徒80% 「あてはまる」と答えた生徒82% 大学進学13人 専門学校21人	A	A	大学進学にこだわる必要はなく、生徒達のやりたいことのために進学するのだから目標値にこだわる必要はない。
		「インターンシップ等とおして、進路意識が向上した」と答える生徒85%以上	「進路学習や企業説明会は進路決定に役立っている」と答えた生徒94%	A	A	特になし。
	「役立ち感育成プロジェクト」の推進	「この1年間で、他団体との交流やボランティア活動に参加したことがある」と答える生徒65%以上	「参加したことがある」と答えた生徒21%（のべ85人）	B	B	町おこしや地域おこしの視点で見つめても良いのではないかと。 郷土愛の育成なども考えてはどうか。 挨拶、礼儀良い。 工業高校は地元産業を支えているため、吉工独自のイベントを企画してはどうか。
	高大連携や外部指導（高度技能者）を充実させ、地域から期待・信頼される、工業高校であることを広報する活動の充実	新しい学校広報のあり方を複数検討し、実現させる。	私塾講師対象の学校説明会 参加者37名 中学校教員対象の学校説明会参加者14名	A	A	特になし。
		公式ホームページ閲覧回数月平均4000以上、公式SNSフォロワー500以上。	公式ホームページ閲覧回数月平均3434回、公式SNSフォロワー621。	A	A	特になし。
		技能競技大会等へ積極的に参加し、上位入賞を目指す。 「資格取得に向け、積極的に取り組んでいる」と答える生徒75%以上	静岡県ものづくり競技大会「シーケンス部門」で優勝した。 「資格取得に向け、積極的に取り組んでいる」と答えた生徒75%	A	A	資格所得は、本校に入学した最大のメリットだと思う。

エ	安全教育の推進と危機管理能力の向上	「登下校時、交通法規を遵守している」と答える生徒95%以上	「交通法規を遵守している」と答えた生徒99.6%	A	A	知識を共有する場があった方が良い。 KYTが評価されている。 どの様な場面であるのか意識付けが必要である。 危険を予知させる教育が必要である。
		工場及び実習室の整理整頓を行うとともに、事故をゼロにする。	事故ゼロを達成した。 「工場及び実習室の整理整頓を心掛けている」と答えた生徒99%	A	A	5Sの基本となっている。 良い習慣づけとなっている。 継続して欲しい。 工場内での危険を予知させる教育が必要である。
		地域防災訓練への参加率90%以上 「地震等大規模災害発生時の連絡方法や行動について親と話し合っている」と答える生徒75%以上	地域防災訓練への参加者は実施地区生徒274人中156人で参加率57%だった。 「連絡方法や行動について親と話し合っている」と答えた生徒68%	B	B	コロナの関係で、防災訓練は、形骸化してきているが、57%は、多いと思う。 参加率ではなく、意思表示ならば、Aだと思う。 評価の観点が、実情に合わない。 防災ビデオを全生徒に見せたら良いと思う。
エ	健康指導の推進	朝食摂取率95%以上 朝食欠食者へのセミナーの充実を図る。 「1年間で体力が向上した」と答える生徒80%以上 健康診断結果による再検査受診率の向上	「朝食を摂取した」と答えた保護者88% 「1年間で体力が向上した」答えた生徒90%、保護者86% 再検査未受診率39% (546人中215人再受診)	A	A	特になし。 登校後、学校内で朝食を食べている生徒はいるのか。
	教育相談システムの充実	ケース会議の開催、教育相談関係の知識向上を図る。 「困った時に相談できる場所(教育相談室)があることを知	「困った時に相談できる場所があることを知っている」と答えた生徒89%、保護者79%	B	B	どれだけ生徒が利用しているか、利用率を知りたい。 入学後、世話をしなくてはならない生徒さんが多い。 学校の努力では、Aでも良いと思う。

様式第5号

		っている」と答える生徒95%以上				本当に辛い生徒は相談しないのではないかな。
オ	ホームルーム活動及び生徒会活動の自主的な運営	「吉峰祭では積極的に参加し、係の仕事を行った」と答える生徒90%以上	「吉峰祭では積極的に参加し、係の仕事を行った」と肯定的に答えた生徒97%	A	A	特になし。
	部活動の活性化	「部活動に無断で休まず取り組んでいる」と答える生徒80%以上	「部活動に無断で休まず取り組んでいる」と肯定的に答えた生徒85%	A	A	OBも頑張っている。 中学の部活が地域移行になってきている。 外部で剣道部の評価が高い。
カ	自律的で信頼できる学校事務の推進	監査での文書指摘事項をゼロにする。 教職員と連携した施設設備の安全点検 年3回	監査での指摘事項はなかった。 安心安全点検・安全パトロール実施要項を作成し、実施した。	A	A	特になし。
キ	働き方改革に向けた業務改善	「定時退勤週間に定時退勤できた」と答える教職員が95%以上 「部活動の活動計画に基づき活動できた」と答える教職員が90%以上	「定時退勤できた」と答えた教職員89% 「計画に基づいて活動できた」と答えた顧問87%	B	B	教職員の人数増を望む。 限界を超えている。 努力してもできない。